

令和２年度徳島県西部地域政策総合会議計画推進評価部会 会議概要

- 1 開催日時
令和２年７月３０日（木） 午後２時００分から午後４時００分まで
- 2 開催場所
西部総合県民局 美馬庁舎２階 大会議室
- 3 出席者
(１) 委員 ５名出席（うち１名リモート出席）
石田部会長，金村委員，平尾委員，加藤委員，大島委員

(２) 県関係
勢井局長，仁木副局長，山川地域創生観光部長，上岡保健福祉環境部長，
國安農林水産部長，旭県土整備部長，岡久政策調査幹 他
- 4 会議次第
(１) 開会
(２) 議事
①「徳島県西部圏域振興計画（第４期）」の令和元年度の評価について
②質疑応答
(３) 閉会
- 5 配付資料
資料１ 徳島県西部地域政策総合会議計画推進評価部会委員名簿
資料２ 令和２年度徳島県西部地域政策総合会議計画推進評価部会 配席図
資料３ 徳島県西部地域政策総合会議計画推進評価部会設置要領
資料４ 徳島県西部地域政策総合会議計画推進評価部会における「徳島県西部圏域振興計画（第４期）」の評価について
資料５ 「徳島県西部圏域振興計画（第４期）」の主な取組結果（令和元年度）について
資料６ 「徳島県西部圏域振興計画（第４期）」評価シート

（副局長）

ただ今から，令和２年度徳島県西部地域政策総合会議計画推進評価部会を開会いたします。

（局長）

ご承知のように，新型コロナウイルス感染症，昨年度末より拡大しておりまして，本県の県民生活，また社会経済活動に大きな影響を与えており，西部総合県民局界限におかれましても，観光をはじめ様々な分野に影響が及んでいるところであります。県民局の事業といたしましても，海外プロモーションの中止や，各種イベントの規模縮小を始め，様々な影響が出ているところでございますし，本来でございますと，この会においては，参考のために現地視察を行っているところでございますが，今年度は中止とさせていただいております。このような状況ではありますが，本日は，西部圏域振興計画（第４期）ということで，今回対象となっておりますのは初年度，令和元年度でありまして，この時期においては，予想通り，予定通り着実に事業が進捗したものや，目標計画を大幅に超える数値で進展したものもありますし，また一歩目標値に届かなかったものなど，そ

それぞれの状況によって異なりますが、本日、委員の皆さんにおかれましては、それぞれの立場、また色々な視点からご意見、ご提言をいただき、じっくりご審議をいただきまして、今後本計画が実のある、またよりよいものへと方向性をご指導いただければありがたく存じます。本日はよろしくお願いいたします。

（副局長）

この計画推進評価部会は、「徳島県西部地域政策総合会議計画推進評価部会設置要領」第5条第2項に基づき、「委員及び専門委員の総数の半数以上の出席がなければ、開くことができない」と規定されております。本日は、委員7名中5名のご出席により、会議が有効に成立していることをご報告させていただきます。

また、本日は、石田部会長にリモートでご参加いただいていることから、各委員の皆様の前にもパソコンを置かせて頂いております。音声等の設定は既に行っておりますので、ご発言の際は、通常どおりマイクでのご発言をお願いいたします。

それでは、ここからの議事進行については、規定により、石田部会長さんをお願いいたします。

（部会長）

私のみリモートということですが、聞こえていますでしょうか、音声はよろしいでしょうか。できるだけ聞き取りやすいように、ゆっくりはっきりしゃべりながら進めていきたいと思っております。

それでは、議事に入ります。

まず、計画推進評価部会の評価手法について、事務局より説明をお願いいたします。

（事務局）

資料4により説明

（局長）

ただいま総括的な評価手法につきまして説明がありました。今年度、令和2年度に関しましては、新型コロナウイルス感染症が計画の数値目標達成に大きな影響を与えることが予想されます。例えば観光など、国内外からの旅行者が激減することに伴い、外国人延べ宿泊客数を始め、多くの数値目標について、達成が困難な状況が予想されます。ウィズコロナ時代に突入いたしまして、社会生活全般において状況が変化している中で、多くの項目が様々な影響を受けるものと思われそうですが、一方、既に目標を上回る実績を上げている項目もあり、これらにつきましては、目標の上方修正など適切な見直しを行っていく必要があると考えております。こうしたことから、今年度以降の数値目標につきましては、県全体の総合計画とも足並みをそろえて、ウィズコロナ時代に適応した目標値の見直しも含め、今後の将来を十分に見据えながら、今後の対応を検討していきたいと考えております。

（部会長）

ただいま事務局から説明がありましたとおり、

- 評価単位は、「重点項目」の下にある「中項目」
- 評価項目は、「令和元年度の成果及び取組」
- 評価は、「順調・要注視・要改善」の3段階

15の中項目を重点項目「1から3」と「4から5」に区切って、事務局から取組状況を説明いただき、委員の皆様から質疑をお伺いします。

その後、「数値目標の達成率」や「令和元年度の具体的な取組の内容等」などに基づき、合議により評価を行うこととなります。

会議中、計画の推進に参考となるご意見、ご提言等があれば自由にご発言いただければ

と思います。

会議でいただいたご意見は、西部地域政策総合会議へ部会の意見として報告し、「徳島県西部圏域振興計画（第４期）」の改善見直しに反映していただくとともに、県民局の今後の事業実施の参考としていただきたいと思います。

それではまず、「徳島県西部圏域振興計画（第４期）」の重点項目１から３の主な取組結果について、事務局から説明をお願いします。

（事務局）

資料５及び６により説明

（部会長）

それではまず、「重点項目１ 観光・移住・交流による地域活力の創生」、こちらから議論を進めていきたいと思います。

この中には中項目が３つございます。最初の中項目「（１）人が行き交う『にし阿波』活力づくり」について、評価、御意見をお伺いするところから始めたいと思います。

いつものようにといいますか、例年のように順番にまず評価をお伺いして、そして合わせて意見もお伺いして、続きまして他の委員さんからも色々意見をお伺いして、というふうにしていきたいと思います。たとえば「順調・要注視・要改善」という評価をお伺いして、それを基にきっかけにして、他の委員さんからも意見をお伺いしながら、順番に回していくという形で協議したいと思います。

では、まず重点項目１の中項目「（１）人が行き交う『にし阿波』活力づくり」についてでございますけれども、こちら私としては、評価としては「順調」でいいのではないかと思います。

数値目標なども全て達成されております。分野としましては、コロナの影響を直接に受ける分野だとは思いますが、まだその影響が県内、県西部には及んでいなかった、あるいは及んでいたかもしれないですが、それ以前の取組によって、令和元年度の実績としては、数値目標を達成できているというふうなことになります。おそらくこのコロナの影響が本格的に現れて出てくるのは、今年度、令和２年度ということになると思いますけれども、今年度の取組をどうするかというのは非常に重要なところだとは思いますが。令和元年度に関しては、「順調」でいいのかなと思います。私からは以上になります。

委員の皆様から御意見、評価、あるいは取組内容について御意見があればお願いいたします。

（各委員）

「順調」で了承

（部会長）

それでは、中項目「（１）人が行き交う『にし阿波』活力づくり」こちらは「順調」ということにさせていただきます。

いつもですと私が会場にいて、それぞれ委員さん方と直接目が合ったりして、御意見、発言を促すとか、どうですかということがありますが、今回目が合うというのもリモートですからなかなかできませんので、どうぞいつもより積極的に遠慮なくご発言いただければと思います。

では、続きまして、中項目「（２）深化する『にし阿波』魅力づくり」についてでございます。

（委員）

中項目「（２）深化する『にし阿波』魅力づくり」について、私の評価は「Ａ」にさせ

ていただきます。魅力を作るということで、特にコンテンツなんかは作り込みしていただいております。スポーツ関係もそうですし、剣山やポタリングなど、地域のガイドさんを活用されて、素晴らしいコンテンツを作っていただいているというふうに感じております。

私の評価は「A」です。数値目標も100%達成しているので、「A」ということでいいのかなと思います。

（部会長）

評価につきましては「A」とおっしゃったかと思いますが、今回のA B Cの機械的な評価を踏まえ、中項目ごとの評価は「順調・要注視・要改善」この3段階で評価をするということになっておりますので、おそらく「A」ということは「順調」という意味であろうかと思いますが、この中項目（2）は順調という評価で、他の委員さん方がでしうか。

また、色々意見ですね、今回の我々の評価ですね、機械的な評価A B Cを踏まえて、そして委員の評価があるのですけれども、提言というものも、我々この部会としては重要でございますから、意見ですね、取組に関して、特に今後の取組について何かサゼッションございましたら、どうぞお願いいたします。いかがでしうか。よろしいですか。

（各委員）

「順調」で了承

（部会長）

はい、わかりました。それでは、中項目「（3）地域を挙げた『おもてなし』態勢づくり」、お願いいたします。

（委員）

中項目「（3）地域を挙げた『おもてなし』態勢づくり」ということで、資料のほうを拝見いたしました。コロナの影響ということで、先ほども局長がおっしゃられてましたけど、特にこの2月3月に、2月とか「あわこい」とかがあったと思うんですけど、こういったこともありつつ目標を達成されたということは素晴らしいと思いました。ですので、評価としては「順調」でよろしいかと思います。

あと、今後の取組方針というところを拝見したのですが、にし阿波体験プログラム「あわこい」だと、地元住民のほうに色々市報とかチラシとかで周知のほうは図られていると思います。前回とかよりも随分告知も進んでいると思うのですが、まだまだ地域住民でござない方がいらっしやいます。お客様とか知り合いの方に「『あわこい』行ったで。」とかいう話をしても、「何それ。」とか言って、ちょっとござない方もいらっしやると思うので、今後もまた、ますますの周知のほうをお願いできたらと思いました。

（部会長）

評価としては「順調」でいいのではないかということで、そしてまた意見もいただきました。こちらから指名をしてといいますか、どうですかというのも、ちょっとなんなんですけども、初めてということで遠慮なさっていただけたらと思いながら、〇〇委員さんですね。観光のことにつきましては、色々お詳しくてといいますか、御意見あるかと思いますが、もしよろしければ、この中項目（3）だけではなく（1）（2）（3）ですね、重点項目1全体に関わることでいいんですけども、もしありましたらお願いいたします。

（委員）

ご指名でございますけれども、特にございません。

（部会長）

すいません、突然指名してしましまして。

では、中項目（３）につきましては、評価は「順調」ということでよろしいでしょうか。

（委員）

本当に素晴らしい取組をされていると思っているのですが、観光地域づくりマネージャーが予定されていたところが１人、対応というか発掘できなかったというところで、本当に地域の民間の方をどう巻き込んでいくかというのは、観光業での一つの大きなテーマというふうに思っていますし、僕が気になるのは、累計１８人で実際に活動している方がどれくらいいらっしゃるのかということなんですけど、やっぱり観光地域づくりマネージャーになっていただいて、その方がどのくらい参画されているのかというのはにし阿波観光でもすごく重要であると思うので、マネージャーを養成するのと同時に、マネージャーが実際に活動してもらえるような形に取り組んでいかないといけないなと思います。

（部会長）

もし今の点について、ご担当あるいは事務局から説明があればお願いいたします。

（事務局）

ただいま観光地域づくりマネージャーについて人数を増やすことももちろんだけど、その取組の活性化について御意見をいただいたところでございます。金村さんご自身マネージャーとして、私どもに日頃からご提言いただいている中で、それは非常に重要なことだと考えておまして、今年度順調にいければマネージャー塾を中心としてご協力いただいて、今いるマネージャーさん自体の活性化というか、モチベーションを上げていき、地域にどうやって貢献していったら、観光産業づくりに活かしていくのかという事業を進めていく所存でございますので、そこを積極的に事業展開しまして、また来年見ていただけたらなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（部会長）

今のでよろしいでしょうか。

（委員）

はい、ありがとうございます。

（部会長）

他にありますでしょうか。

では、よろしければ中項目（３）、評価は「順調」ということで決めたいと思います。

続きまして、重点項目２へうつります。「豊かな地域環境の次世代継承」でございます。中項目「（１）美しい自然環境との共生」についてですが、こちらはいかがでしょう。

（委員）

それぞれの実績値が目標よりも上回って達成しておりますので、Ａ評価でよいかと思います。一つ気になったのが、剣山登山道ナビシステム、このアプリダウンロード数が１,５５０から２,１２５にダウンロード数が増えたということはとてもいいことだと思います。どんなアプリなのかと思ひまして、アプリを私もダウンロードしようと思って見てみたら、評価が５段階評価で１.８という評価だったので、これについては評価向上に努めていただければと思いました。

（部会長）

評価につきましては「順調」というところですが、アプリのところ、これはご質問と理解してよろしいですかね、御意見の両方を兼ねた感じかと思ひますので、もし事務局の方から、ご担当の方から説明できましたらお願いします。

(事務局)

剣山登山道アプリについて、評価の方が不発ということで、このアプリにつきましては、皆さんからいただいた評価を踏まえて改善に努めていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

(部会長)

他にこの中項目について御意見ございますでしょうか。

評価「順調」というところも含めてよろしいでしょうか。

(各委員)

「順調」で了承

(部会長)

では、そのように決定いたします。

続きまして、中項目「(2) 良好な地域環境の創造」でございます。

(委員)

「良好な地域環境の創造」の中で、数値目標全てクリアしてますので「順調」でいいんじゃないかと思います。特に23番の「あわ産LED道路照明灯の設置基数」は、575基に対して638基と大幅に上回っております。また、25番についても「合併浄化槽設置届出数」が8,500のところを8,766と大幅に上回っておりますので、「順調」でよろしいかと思うんですけれども、22番から始まりまして、22番が全て30団体という、30団体、30団体、30団体となってます。24番が7回、7回、7回、7回と、ずっと数値目標が同じ箇所がたくさんあって、この分野については非常に行政として関わりが難しいと思うんですけれども、22番であります。今後の取組方針として、今後の方針も示されておりますので、そういったことで、2019の話ではないんですけれども、数値が、実績が目標よりも大きく伸びることを期待しているところでございます。2019の状況につきましては「順調」でよろしいかと思います。

(部会長)

他の委員さんから御意見いかがでしょうか。よろしいですか。

(各委員)

「順調」で了承

(部会長)

それでは、事務局のほうから少し説明いただけるようなので、お願いします。

(事務局)

ただいま24番のにし阿波環境塾の開催について御意見いただきました。回数が7回ということで御意見ございましたけれども、環境塾についてはできるだけ参加された方に満足いただけるよう、有意義な内容の充実に努めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

数値目標に関しては、新たにその中で参加された中学生以上の方の満足度に関しても、昨年度意見を受けたとおり、重ねて充実に努めていきたいと思っております。

(部会長)

いかがでしょうか、今の説明で。よろしいでしょうか。

(委員)

はい、よろしくお願いします。

(部会長)

他に委員さんから御意見いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、この中項目「(2) 良好な地域環境の創造」につきましては、「順調」という評価にしたいと思います。

続きまして、今度は中項目「(3) 環境資源の積極的な活用推進」でございます。こちらはぐるりと一巡しましたので、私の方からになります。まず評価としては「順調」ではないかと思えます。こちら色々報告がありまして、一応Aというふうな全て判定になっておりますので、それを踏まえて評価としては「順調」でいいだろうというふうに考えております。私からは以上になります。委員の皆さんから御意見などはいかがでしょう。よろしいですか。

(委員)

29番の「鳥獣被害対策などで捕獲したニホンジカやイノシシなどの『にし阿波の自然の産物』を食肉処理加工し、ジビエ料理の食材として普及・定着を推進します。」という項目で質問がございます。こちらの下欄で食肉処理加工処理頭数ということで、令和元年度が550頭の目標のところ、573頭ということで100%の達成をされています。翌年度、翌々年度も550頭ということで目標があるのですが、こちらは処理頭数ということで記載があるんですけど、実際こちらは販売につながっているのかどうかというのは、わかるものなのでしょうか。

(事務局)

食肉加工処理頭数が販売につながっているかどうかというご質問がありました。これにつきましては、県と市町で販売を推進しているところでございます。この表の15ページの数値目標のところでは処理頭数の上の欄に、「『阿波地美栄』取扱店数」というのがあります。こういう地美栄のお店に加盟をしていただいて、加工処理をしたお肉をそこで販売し、また料理をしてもらってジビエの普及をしているところであります。祖谷にある食肉加工処理施設につきましては、首都圏にも出荷していると聞いておりますので、引き続きこういう取扱いを増やしていきたいと考えているところでございます。

(部会長)

よろしいでしょうか。

(委員)

はい、ありがとうございました。

(部会長)

他にいかがでしょうか。

(各委員)

「順調」で了承

(部会長)

では、御意見なければ、中項目「(3) 環境資源の積極的な活用推進」こちらの評価は「順調」ということにしたいと思います。

続きまして、重点項目の3に入りたいと思います。「誰もが安全で安心できる地域社会

の形成」になります。こちらの中項目「(1) 広域防災・受援体制の確立」ということになります。

(委員)

中項目(1)に関して、数値目標を達成されておりますので、それを踏まえてこの中項目についてA判定でよろしいかと思えます。一点ですね、素晴らしいのが、19ページの36番なんですけれども、目標45回に対して、実績が129回ということで、目標に対して287%達成されているという本当に素晴らしいという反面、目標のそもそもの設定値がどうなんだろうかということも見ている人は気になります。やはり適切な目標設定していくということが、評価の精度を高めていくというふうに思えますので、次年度はおそらく目標を高く設定されると思うんですけれども、そのあたりをしっかりと視野に入れておいてもらえたらなと思いました。

(部会長)

ありがとうございます。評価は「順調」ということで、その他意見をいただきました。他の委員さんからいかがでしょうか。この中項目(1)についてでございますけれども。

(各委員)

「順調」で了承

(部会長)

よろしければ、この中項目(1)につきましては、評価は「順調」ということで決めたいと思います。

続きまして、中項目「(2) 災害に備えた着実な基盤整備」でございます。いかがでしょうか。

(委員)

中項目「(2) 災害に備えた着実な基盤整備」ということですが、この中の37番で上から3つめの項目、「土砂災害の危険性のある要配慮者利用施設及び避難所の保全施設数」ということで、こちらが令和元年度の目標値が163施設のところが157施設になっています。こちらの数値目標の達成率が96%になって、こちらの数値が低いため、全体的な評価がAですが、98%ということになって、その要因ということで、横のほうに記載していただいている内容を拝見いたしました。こちらの方は、今現状どうなっているのかとか、そういった近々の情報とかお持ちでしたら、お聞かせいただけたらと思います。

(事務局)

計画としては8カ所ございました。そのうち2カ所につきましては、順調に進みましたが、そのうちの6カ所がここに書いてございますように、平成30年7月豪雨の工事の関係で実施に至らなかったというところでございます。その6カ所のうち、4カ所については入札を済ませ、実際の工事にかかっております。あとの2カ所についても、今現在、適宜入札発注に向けて取り組んでいるというところであり、今の状況につきましては、残りの6カ所につきましても順調に作業を進めているというところです。

(委員)

ご説明いただきありがとうございます。ご説明いただいた内容を踏まえて、全体的な評価としては、「順調」でよろしいかと思えます。

(部会長)

はい。その他委員さんからいかがでしょうか。今の説明を踏まえて「順調」という御意

見でございました。どうでしょうか。よろしいでしょうか。

（各委員）

「順調」で了承

（部会長）

はい、では中項目（２）は「順調」ということにしたいと思います。

続きまして、中項目（３）になります。「地域で地域を守る活動の推進」ということになります。こちらいかがでしょうか。

（委員）

中項目「（３）地域で地域を守る活動の推進」ということで、25ページの「防災出前講座・訓練等の開催回数」が年間96回ということで、月8回ペースで行っているという計算になるので、非常に多くてよいことだと思います。

それから、28ページの「とくしま食品表示Gメン」というのを初めて聞いて、知らなかったんですけども、このGメンというのは県職員が任命されてなっているのでしょうか。年間20業者以上継続的に行っているということで、これは毎回同じ事業者なのでしょうか。そこらへんをお聞かせ願えたらと思います。

（事務局）

とくしま食品表示Gメンですが、そのGメンというのは、美馬・三好庁舎それぞれで2名ずつ県職員があたっております。それから、立ち入るところは、それぞればらばらでございまして、20件のうち、飲食店の調査でありますとか、それから本庁のほうから調査要請があつて入るところとか、それから本庁と県民局合同で監視する等々ございまして、同じところに入っているということではございません。

（委員）

数値目標全て達成していますので、「順調」でよいのではないかと思います。

（部会長）

はい、質問への説明も踏まえた上で、「順調」という御意見でございます。ほか委員さんからはいかがでしょうか。評価は「順調」のままとしても、何か御意見がございましたらお願いします。よろしいでしょうか。

（各委員）

「順調」で了承

（部会長）

はい、それではそのように決めたいと思います。この中項目（３）の評価は「順調」としたいと思います。

ここまでで、重点項目の３までの評価、意見交換を終わりました。続きましては、重点項目の４と５になりますが、こちらまた改めて事務局のほうから主な取組結果について説明をお願いして、そして議論をしたいと思います。次に、重点項目４と５の主な取組結果について、事務局から説明をお願いいたします。

（事務局）

資料５及び６により説明

(部会長)

ではまず、重点項目4から議論をしていきたいと思います。まず重点項目4「誰もが幸せに暮らせる地域の実現」、この中項目「(1) 子どもの育ちをはぐくみ、支える地域づくり」について、評価、御意見をお伺いするところから始めたいと思います。この中項目(1)につきまして、お願いいたします。

(委員)

「誰もが幸せに暮らせる地域の実現」におきまして、「子どもの育ちをはぐくみ、支える地域づくり」という中項目でございますが、非常に重要な項目でなかろうかと思っております。数値目標といたしましては、58番の「妊娠・出産・子育てに関する相談支援件数」も大幅に達成していると、59番につきましても、「健康教育の実施校数」の目標を上回っていると。次31ページに入りまして、62番でございますが「発達障がい児のための研修会の受講満足度」、80%の目標に対して91%。その下につきましても、63番につきましても、「母子・父子自立支援プログラムを活用した就職率」、目標70%に対して88%と、目標を大幅に上回っている項目も非常に多くて、この中項目につきましては「順調」という評価でよろしいのではないかと考えております。

(部会長)

ほか委員さんからいかがでしょうか。評価は「順調」ということになりますけど、評価についてもいかがでしょうか、よろしいでしょうか。

(各委員)

「順調」で了承

(部会長)

それでは、中項目(1)評価は「順調」ということにしたいと思います。

次は、中項目「(2) 心を寄せ合う地域福祉の充実」ということになります。こちらは、私が順番と言うことになります。こちら項目が非常に多くて、いくつかの項目で100%にはなっておりません。ただ、なっていないところはあるんですけど、全体としては「順調」でいいのではないかなあというふうに評価としては思っております。とはいえ、この項目は福祉に関わる項目でして、「順調」だからこれで本当によくパーフェクトなのかと、何にも問題はないのかというところ色々問題は福祉の現場ではあるかと思いますので、そちらはこれまで通り取組が必要であらうとは思っています。けれども、評価としては「順調」でいいのかなというふうに思っております。また、県で直接やることだけではなく、おそらく市町村への働きかけというふうなところでやっていくこともあろうかと思っておりますので、そういうところ、働きかけも積極的に今後も進めていければいいかなあというふうに思っております。私からは、以上になります。

さて、他の委員さんからはいかがでしょうか、この中項目「(2) 地域福祉の充実」ということになりますが、よろしいですか。

(各委員)

「順調」で了承

(部会長)

それでは、評価は「順調」ということで決めたいと思います。

続きまして、中項目(3)になります。「健康寿命延伸に向けた地域力の向上」でございます。

(委員)

「健康寿命延伸に向けた地域力の向上」ということですが、ほぼ数値の方、達成しておりますので、「順調」という評価でよろしいのかなというふうに思います。2点ありまして、まず1点ですね、「地域医療に関する人材育成研修会」の受講者数が94%と、たしかに現場では、参加しづらい状況であると思うんですけども、最近増えておりますが、今はやはりリモートという手段がございますので、リモートなどで参加しやすい環境を作っていくことが大切なのかなということと、今コロナ禍において、地域経済かなり疲弊しております。これから自殺者数、件数の増加というふうな予測がされます。そういった中で、自殺対策についても研修などでしっかりと取り組んでいただいているんですけども、そのあたり今の経済活動がすごく悪くなっているということを念頭においていただき、さらなる強化に取り組んでいただきたいし、また、家庭内でのDVという問題も今増えてます。そういったところも含めて、相談しやすいような環境に、地域になるよう取り組んでいけたらいいのかなというふうに感じております。

(部会長)

他の委員さんからはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(各委員)

「順調」で了承

(部会長)

では、この中項目の(3)健康寿命に関するところですが、評価は順調というふうに決めたいと思います。ただ、意見も言っていただけましたのでよろしくお願いいたします。

続きまして、重点項目5になります。「持続可能な地域経済の推進」ということになります。中項目の「(1)『にし阿波型もうかる農業』の確立と推進」これにつきまして、お願いします。

(委員)

中項目「(1)『にし阿波型もうかる農業』の確立と推進」ということで、内容の方拝見させていただきました。すごくたくさんの項目に分かれてるものの全ての内容が100%を達成されて素晴らしいことだと思いました。評価は、「順調」ということでさせていただけたらと思うのですが、今はコロナの影響もあって、都市から地方の方に移住を希望されたり、農業されたりしたいという方もおられるということを聞いたりもします。そういった方が、こちらに来られるチャンスをたくさん作っていただきたいと思います。色々フォーラムとか啓発活動も予定されているように拝見しておりますので、応援させていただきたいと思います。

(部会長)

評価は「順調」という御意見ですが、その他いくつか具体的な御意見いただきました。他の委員さんからどうでしょうか。項目数の多い中項目ではありますが、御意見どうでしょうか。よろしいでしょうか。

(各委員)

「順調」で了承

(部会長)

それでは、この項目の評価は「順調」ということにしたいと思います。

続きまして、中項目「(2) 森林・林業を核とした『地方創生』」こちらをお願いします。

(委員)

「森林・林業を核とした『地方創生』」ということで、森林経営管理ですとか、伐採後の造林面積ですとか、この重点項目5以外にもところどころ出てきたので、ちょっと付箋を貼ったりしているのですが、まず計画書の82ページに「民有林のうちスギ・ヒノキ等の人工林は、主伐可能な森林が54%にも達し、森林資源として積極的な利用を進める時期を迎えています。」とあります。防災観点の林業と経済推進の観点の林業で、どう違うのかなということをやっと思いました。戻ってしまうんですけども、23ページに防災に強い森林なら間伐実施面積は少ないほうがよいのでしょうか。49ページには、「伐採後の造林を推進します。」とありますので、間伐をしながらも伐採後は造林を推進しますということで、判定は90%以上でAとなっているんですけど、この辺についてちょっと教えていただければと思います。

(事務局)

今、間伐の実施と伐採後の造林のことにつきまして、ご質問をいただきました。木がだんだん大きくなってきますと、手入れとしまして間伐が必要となります。その後、木がいよいよこれから使えるという時期になれば皆伐を行い木を伐りまして、木がなくなった跡にもう1回木を植えるということで、循環利用を進めており、間伐を行い災害に強い森林づくりを推進するという目標と、木を切った後に造林を進めるという目標を設定しております。どちらとも目標を達成できたということで、ご理解いただければと思いますので、よろしくお願いします。

(委員)

ありがとうございます。目標は達成できていますので、「順調」でよいかと思います。

(部会長)

その他委員さんから御意見いかがでしょうか。評価の案としては、順調ということでございますけれども、あと意見などありましたら。よろしいでしょうか。

(各委員)

「順調」で了承

(部会長)

では、この中項目(2)、評価としては「順調」にしたいと思います。

続きまして、中項目「(3) 国内外との交流を通じた商工業の振興」でございます。

(委員)

103番ですね、「にし阿波ならではの新ビジネス等の創出件数」目標1件で、実績1件ということで数値目標はクリアしておりますが、1件という目標が適切なのかどうかということはあるんですけども、少し何とか数字をあげていただけたらいいんじゃないかなと思うんですけども、令和元年度は達成してるということでございます。それともう一つ次のページ105になるんですけど、サテライトオフィス等企業での雇用者数ということで、105人に対しまして、107人ということでクリアしております。これも地方創生で非常に重要なポイントになるんでなかろうかと思っておりますので、引き続き取組をお願いします。それと、もう一つ、雇用者数もそうなんですけれども、やはり進出してくる企業の数っていうのもやっぱり注目していただけたらなと思ってます。新しくサテライトオフィスや、新しい企業が来るっていうことは、地方に新しいビジネスが来るっていうことで

すので、雇用者数も非常に大切なんですけれども、企業の数というのにも注目していただけたらと思います。それと、テレワーク拠点の利用者数と、お試しテレワークの利用というのは、これはコロナの頃にございまして、非常にこれまでの環境と大きく変わることになるかと思いますが、そのあたりも適切に対応して、次年度以降の数値目標とかに反映していただけたらなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。数値目標と実績を照らしますとすべて達成しておりますので、「順調」ということでよろしいんじゃないかと思います。

（部会長）

はい、では説明をお願いします。

（事務局）

まず103番の「にし阿波ならではの新しいビジネス等の創出件数」1件という数字、これどうかなというお話をいただきました。この数値については、官民入った形で「にし阿波地域連携ビジネス創出支援事業運営協議会」というところでもみまして、今年どうことをするかということやっていってる事業でございまして。平成27年度からやっています。新しい取り組みというか、毎年こう新しいものを作り出すということは、非常にハードルが高い、この1回というのは非常に重い1回だというふうに考えておりまして、例えば昨年度でありましたら、徳島の名産であります藍というのをいかにヨーロッパにですね、ちょっとカッコよくしてヨーロッパで売れるようにするにはどうしたらいいかというのを練って練ってして、商品を作り上げて、ヨーロッパ仕様にかっこよく、藍染めの桐箱でありますとか下駄バック、テーブルクロスもちょっとかっこよくという感じで、そういうなのを踏まえて1件という形でここに入れさせてもらっています。御意見いただきましたので、ますますもみまして、回数でもどんどん増やしていけたらと思っております。

それから、105で御意見いただきまして、雇用者数じゃなくて企業数というところで、これも非常にももちろん企業が来ていただけたらいいということですが、ハードル、誘致というのは高いものでございまして、まずはサテライトオフィスに来ていただくこと、それからそこで働くということで雇用者を生んでということから、またお試しで来てもらって、まあ企業数ということであるという、一番最後に海外企業数というのを念頭に、もちろん国内外からということであるんですけど、まずお試しできてもらってということがサテライトオフィスの位置づけで、移住してもらって、創業してもらって、あるいは起業してもらってという、全体を踏まえた取組ではやってるつもりでございまして。この数値目標としては、この3つがあげられているんですが、もちろんその企業さんの誘致というのも今後とも力を入れていきたいなと思っております。

（部会長）

よろしいでしょうか。

（委員）

丁寧なご説明いただきましてありがとうございます。

（部会長）

評価としては「順調」という御意見だったかと思うんですけれども、取組の中には、桐下駄という風なのもあったりします。御意見などございましたらお願いいたします。

（委員）

ありがとうございます。桐下駄に関しまして、本当に東みよし町の伝統あるもので、徳島県で見ても桐下駄は代表となるものであります。といった意味では、にし阿波における、本当に魅力のあるコンテンツの一つですので是非広く官民一体となって、世界にも広げるような形で、事業展開して進んでいけばうれしいなと思っております。

(部会長)

そのほか地元の企業さんなんかとのお付き合いとか支援とかは、〇〇委員さんの得意な分野ではないかとよくお詳しいんじゃないかと思うんですが、いかがでしょうか。もし御意見ありましたらお願いいたします。

(委員)

少しお伺いしたいことがございます。104番の「にし阿波ならではの食や工芸品を、世界に通用する特産品に磨き上げ、販売額の増加につなげるため、物産展示・PRやバイヤーとの商談会などの取組みを推進します。」という項目があります。こちらの内容について、質問させていただきます。弊社も弊社で製造しました食品なんかをマッチング商談会とか東京の展示会に出品とかもさせていただいたりもするんですが、出品する立場の者として、結構なんでしょう、かなり時間が経ってから、例えば1年後にお話をくださったり、またすごく十分取引をさせていただいていたんですけども、まあどちらかの都合が悪くなって、そのお話が1年目はよかったけど2年目はなくなったりというようなご商談があることもございます。ですので、こちらの新規商談・マッチング成立件数が令和元年度から続けて30件を目標にされて、令和元年度は31件で100%達成ということは、ものすごく素晴らしいことだと思うんですが、目標達成ということだけではなくて、どれくらい販売額が上がっているとか、新規のお客様がその後どうなったかという、後の情報を知りたいなと、うちだけじゃなくて、よその業者さんとかもどうなっているんでしょうかというように知りたいことができましたので、質問させていただきました。そういった項目とかも何か調査内容に盛り込まれたら、参考にさせていただきたいと思います。

(事務局)

ただいま104番について、ご意見・ご質問いただきました。この新規商談・マッチング成立件数については、年に1回西部圏域の企業さんと、それからバイヤーさんに集まっていたいての一つの商談会ととらえての数値設定とさせていただいてます。商談・マッチング成立件数とありますので、実際のところは31件が「良さそうだ」という報告を受けた件数でございます。そのうち商談が成立したと後日お聞きしたのが23件ございまして、今も商談中というのが8件です。なので、こういう評価シートがあるおかげもあって、追跡はさせていただいています。もちろん毎年毎年やっていますので、それぞれにリニューアルするとか引き続き1年越しでも2年越しでもそこがうまくいっているかなどかなという情報収集はさせていただいて、ご報告できるようにしたいなと思います。

(委員)

丁寧にご説明いただいてありがとうございます。

(部会長)

他にいかがでしょうか。よろしいですか。

(各委員)

「順調」で了承

(部会長)

では、この中項目につきましては、評価としては「順調」ということになるかと思えます。よろしいでしょうか。

これで一通り議論を終えたということになるんですけど、改めて確認させていただきますと、全ての中項目について「順調」という評価になります。まずはそれでよろしいでしょうか。

(各委員)

全て「順調」で了承

(部会長)

はい、ではそのようにさせていただきたいと思います。また、ご意見いくつかいただいておりますけれども、言い残した、あるいは言い忘れた、遠慮をしていた、後から思いついた色々あるかと思いますが、もしございましたらお伺いできればと思います。重点項目１～５の全体でどこの部分についてもかまいませんので、ご意見あるいはご提言などありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

(各委員)

了承

(部会長)

では、少し時間がありますので、委員の皆さん方ですね、今日ここまでいただいた意見を昨年度までのいろいろ、昨年度の取り組みに関してというところで、主に評価にかかわってご意見ご質問いただいていたと思います。実際今年度はすでに始まっておりますけれどもコロナの中でのという風なところで、まったく新しいといいますか、違った状況でいろいろ取り組みをしていくということが既に求められているところかと思っています。そのようなあたり、コロナの中でのといいますか、こういう中で今後に向けてというところで、委員の皆さんからどのあたりの部分でもかまいませんので、順にご意見をいただければと思います。これは、順番に急をお願いをしておりますので、少し考えていただいてもかまいませんので、どなたからでも順番にこちらから指名していくというのではなく、ご意見いただければと思います。用意ができた方から手をあげていただければと思います。

はい、ありがとうございます、お願いします。

(委員)

今後ということなんですが、本当にコロナで、にし阿波において観光業にもものすごい力入れて特にインバウンドをやっていくんだということで、本当に皆さん一丸となって取り組んできたんだけれども、このような状況となっておそらく１年ないし２年くらいは難しいんじゃないかというふうに思います。今よく言われているようなマイクロツーリズムで、やっぱり身近なところからお客さん集めてそこから始めていこうということだと思います。コロナになって、すごくやはり「衛生」というのが一つの大きなテーマだという風に考えています。にし阿波ってもうちょっと安心安全な観光ができる場所ということ、教育旅行とかも含めてそうなんですけど、しっかりとガイドラインを作って、受け入れ先がどういった形でお客さんをお迎えするかとか、どういった形で安全に滞在できる、ゆっくりできる、そういったところを売りにして、にし阿波らしい新しいコロナ、アフターコロナに向けての取り組みを今からしっかりしていくことがすごく重要だというふうに思っております。だからやっぱりインバウンドをある程度方向転換するというのも一つの戦略だろうというふうに思っております。とにかくにし阿波における観光ってのはものすごく重要な、本当にこれから将来的に大切な取り組みになってくると思うので、今コロナ、ウィズコロナでですね、どれだけのことをやるか、どういった環境を整えるか、それがアフターコロナに評価されると思いますので、そのあたりを官民一体となって取り組んでいけたら素晴らしいのかなという風に思っております。私のほうからは以上でございます。

(部会長)

ありがとうございます。お願いいたします。

(事務局)

ただいま貴重なご意見いただき誠にありがとうございます。県の方でもコロナの非常に深刻な状況を真摯に捉えておりまして、今年度に入って当初予算のほかに、4月の臨時議会、あるいは6月の県議会等で西部からの今の状況に即した事業提案をさせていただきました。4月には研修事業ということで、いろいろコロナ禍どうということをしていったらいいとか、今だからできることっていうのを事業にさせていただきました。6月の議会では今困っている事業者さんが大半困っていると思うんですけど、何に困っているのかというところのプロポーザル方式で事業を挙げてきていただきまして、それで困っていることがあればこれからのアフターコロナに備えてどうということをしていくかという各事業者さんの思惑に沿った委託事業と、こういうのも組ませていただいております。今委員さんおっしゃられたようにこれからまたアフターコロナに向かって、あるいはインバウンドがいつの時期になるかちょっとまだ不透明なところがあるんですけど、今だからできることっていうのを事業者さんと共に考えて、逐次、事業化というか、予算化というか案件としてサポートできるようにしたいなと考えておりますので、また御意見ご協力いただけたらと思います。よろしくお願いします。

(部会長)

そのほか委員さんいかがでしょうか、次。はい、では、お願いします。

(委員)

今後の取組ということで、皆さんお考えになっているとは思いますが、気がついたところを発表させていただきます。マイクロツーリズムということで、国のGOTOキャンペーンとか、徳島のとくしま応援割、美馬市でしたらGOTO美馬、三好市でしたらGOTO秘境三好市ということで、いろんなキャンペーンされていると思います。いずれも8月末で終わったり、来年1月で終わったりすると思うんですけど、実際私もとくしま応援割2回ほど利用させていただいて、1回目は池田の方で泊まらせていただいて、2回目は県南の穴喰の方で泊まらせていただきました。実際この利用された方たちって一体どこの人がどこに泊まったんだろうとかがすごく個人的に興味があって、やっぱりそういったことがなんかいずれまた数値でおこされると思うんですけど、そういったことも知りたいなと思いました。

あと今できることということで、ウィズコロナ、アフターコロナといってもいつ終わるか分かりませんが、今だからできることということで、コンテンツづくりとかプレイヤーづくりにやっぱり力をいれていただけたらと思います。ブランド力の高い大歩危祖谷地域から周辺地域へ滞在日数を増やすことということの項目が中項目「(2) 深化する『にし阿波』魅力づくり」ということであったんですが、やっぱり滞在日数を増やすということは、何かコンテンツがすごく充実したものがないと、やっぱりお客さんってすぐよその県に行ってしまいます。やっぱりそこでどういった個人旅行で時間を使っていたか方だったら、やっぱり体験が一番いいんじゃないかなと思いました。スポーツツーリズムという項目もあったんですが、スポーツツーリズムでも例えば今まで注目されてなかったゴルフとか、西部防災館の方ではヨガがすごく人気があるということで、欧米の女性とかだったらヨガとかがすごく人気があると思います。あと、身近な方で海外から来られた方が、合気道を習いに来たということで結構武道ツーリズムですか、そういったものもすごく人気があるというのを聞いたこともありますし、にし阿波はゴルフ場とかもありますので、個人旅行で来られた方とかはそういった楽しめるものもあるんだよということで、自分でコースをご覧になるそういうこともあると思いますので、いろんなありとあらゆる楽しめるコンテンツとかアクティビティを掘り起こして、それを充実させていったら滞在日数も増えるんじゃないかなということでした。

(部会長)

ありがとうございました。お願いします。

(事務局)

宿泊割のどこの人がどういったところってというのは、今実施中でございますので、どういう形でどこまでっていうところもあるかと思うので、本庁に伝えておきたいと思います。それから、今だからこそというので、コンテンツ作り、プレイヤーづくりというご意見賜りました。ありがとうございます。ヨガでありますとか、武道でありますとか、ゴルフなどなどのよいアイデアだなと思っておりますので、そういうことが実現化できるようにしたいと思います。先ほどおっしゃっていただいたように西部防災館のヨガってというのは、先ほども回数が大幅に伸びているのがヨガのおかげで、ヨガが非常に注目されているということなので、そのあたりもツーリズム化できないかということ考えていきたいと思います。ありがとうございます。

(部会長)

では続きまして、お願いします。

(委員)

私、福祉が長かったので、どうしても福祉の項目に目が行ってしまいまして、重点項目4の「誰もが幸せに暮らせる地域の実現」ということで、今コロナ禍でひとり親家庭の中の経済状況ですとか、認知症のご家族がいる世帯で感染予防の徹底の一方で経済を回していかなければならないというのは本当に大変だろうと思います。また、多くの企業で採用を見送ったりしている中で、就職活動の方も大変だと思います。その中で、生活保護受給者の自立支援プログラムを活用した就職率ですとか、引きこもりの相談件数が40件をクリアしておりますが、その後引きこもりの方が就職したのか、その後の結果がまた重要視されてくるのではないかと思います。この結果についてもまた来年度の評価でお聞きできればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

先ほどひとり親家庭に対する支援などの結果を重視する必要があるとの御意見をいただきましたので、そういったところを十分にフォローできるように努めて参りたいと考えております。よろしくお願いいたします。

(部会長)

ありがとうございました。では、よろしくお願いいたします。

(委員)

私からは一点だけお願いがございます。先ほど委員さんの方からいろんなキャンペーンの実績ですかね、三好市の秘境トラベルキャンペーンは私の観光協会が実質的な事務をしてまして、内容はいくつかあるんですけど、最も人気があるのは、OTAというオンライントラベルエージェント、楽天さんとかじゃらんさんとかを経由した宿泊割引が圧倒的に人気があるんですけども、これの利用者数で一番多いのが徳島、次が大阪、次が兵庫。4番5番が四国の他県という状況です。それと、先ほどから、いろんなやはりコロナを受けてのこれからの事業展開という風なことになるんでしょうけど、だいたいポイントはそのことになるんでしょうけど、やっぱりこれまでにない新たなビジネススタイルであるとか働き方のスタイルであるとか、新しい事業さんがでてくるとかいろんな話、それから宿泊事業者とかそういう事業者につきましては、非常にご苦労されてるので、やはり先ほども説明ありましたがけれども、いろんな支援制度とかいう風なのを組まれているということをお聞きしておりまして、私どもも活用させていただいているんですけども、やはりそういったものを長期的なスパンで、今年で終わりではなく、長期的なスパンでぜひともお願い

したいと、お願いにはなるんですけれどもそういうふうなことでよろしくお願いいたします。

(部会長)

ありがとうございます。事務局の方からはよろしいですか。

(事務局)

情報提供とそれと支援制度について引き続きというご意見いただきました。三好市観光協会さんをはじめ、観光関連の団体さんあるいは事業者さんと連携を図りながら、今の事業展開を進めていきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

(部会長)

ありがとうございました。これでひととおり委員の皆様からご意見を、今後に向けたというところで、コロナに関連していただきました。以上で、本日の審議、議事を終了したいと思いますけれども、評価に関連してよろしいでしょうか。それでは、議事を終了したいと思います。続きまして、本日の会議の会議録の取りまとめ方法について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

本日の会議の会議録につきましては、事務局で会議概要の案を作成し、委員の皆様にご確認いただいた後、県のホームページで公表させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(部会長)

会議概要について、委員の皆様による確認後、公表することよろしいでしょうか。

(各委員)

了承

(部会長)

ご異論ないものとします。

以上をもちまして、本日の議事を終了させていただきます。

それでは、事務局にお返しします。

(副局長)

委員の皆様方、長時間にわたりありがとうございました。

本日いただきました様々なご意見については、今後の事業推進の参考とさせていただきます。

以上をもちまして、「令和2年度徳島県西部地域政策総合会議計画推進評価部会」を閉会いたします。